

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第6号

2009.3.10
第6回会議
分野をこえた
意見交換
の巻

「第6回きたかみ未来創造会議」が3月10日（火）に開催されました。今回は、第5回目内容から、それぞれ分野ごとの課題の整理と全体の情報共有（意見交換）を図ったのち、まちづくりのキャッチフレーズの作成を行いました。

■第6回「きたかみ未来創造会議」の概要

はじめに総合計画の策定支援をお手伝いいただいている邑計画事務所から、これまでの議論の整理方法と、皆さんの議論がどのように市に提案されるかのイメージについて、説明がされました。その後、分野別に、これまでの経過内容（第2回～5回目までの議論の積み重ね）を確認しました。

そして、今回のメインは、「全体の情報共有（各分野間でのふりかえりを通じた意見交換）」。前回ふりかえりシートにも「他の分野と意見交換したい」という意見があり、全員で各分野におけるまちづくりの方向（キャッチフレーズや策定経過）を確認いただき、意見交換を行いました。

分野ごとに「お留守番」と「訪問者」の2班に分け、「訪問者」が他の分野に出向き、訪問先のキャッチフレーズ等について「良い点」、「疑問点」、「追加点」などを意見交換します。

その後、「お留守番」と「訪問者」が交替し、全員が「訪問者」として各分野に出向き、意見交換を行いました。

初めての取り組みでしたが、和やかな雰囲気のもと、活発な意見交換がされました。そして、意見交換の内容をもとに、各分野で再度、分野別のキャッチフレーズを検討し、3回目から続いた分野別の検討は終了しました。

最後は、「市全体のまちづくりのキャッチフレーズ」の検討です。今回はグループワークではなく、個人で、これまでの経過を振り返り、6つの分野の思いをつなぐ、そして、それぞれ自分が思い描くキャッチフレーズを考えました。

その後、みんなで最も良いと思うもの2つに投票しました。（結果は4P）メンバー皆さんの「まちづくりへの思い」が表現された様々なフレーズが出され、次回、北上市全体の将来像の検討が楽しみな時間となりました。

次回は、これまでの集大成となる時間です。まちづくりの理念と北上市全体の将来像について検討します。年度末のお忙しい時期ではありますが、メンバー皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

<次回開催について>

※次回開催 日時：3月24日（火）18時30分～
場所：市民交流プラザ
○お問い合わせ 北上市政策企画課 64-2111 まで



分野別の議論の積み重ね確認



分野をこえた意見交換



将来像・キャッチフレーズの投票



投票結果の確認

○意見交換後の分野別のまちづくりのキャッチフレーズ

分野：保健福祉

子育てと医療福祉の充実した夢のあるまち

○キーワード

- ・豊かな・夢のある・まち・みんなが・充実・誰もが
- ・プライマリ・ケア・社会保障・見守り・手厚い・いきいき・健康
- ・子育て・育児・支援・安心して・暮らす（せる）
- ・福祉・福祉のまち・保健医療と・福祉と医療のまち・笑顔
- ・命を守る・生活・命と暮し

分野：教育文化

生きる力を育み文化が躍動するまち

○キーワード

- ・生かされる・生きる力・元気になる・元気・生きる力の充実
- ・生きる力の基礎・生きる力の環境・生かされる・生きる力
- ・価値ある文化
- ・充実した環境・充実・価値ある～・環境整備・あふれている・体験・息づく街・育み
- ・専門的な人材・IT活用・活用・活用・地域の先生・交流・交流
- ・多様性・教育機会の多様性・多様な力の育成・基礎的な力の育成・教育環境の整備

分野：産業雇用

独自の技術と資源を組合せ 活気うまれる北上

○キーワード

- 資源
 - ・水・資源・産業を支える人
- 独自
 - ・先端技術・独自の・はたらく（労働）・農業・魅力・発信・工業
- 活気
 - ・活気・活気・まちづくり・活かす・にぎわい
 - ・豊かな自然をいかすまち・独自の技術と資源を組立て、活気ある北上
 - ・独自の技術で活気ある北上・人材育成
 - ・組み合わせ コラボレーション・再構築

分野：地域整備

きたかみデザインのまち

1. ユニバーサルデザイン
2. 特色あるコミュニティの実現
3. コンパクトシティの実現（効率的公共サービスの実現）
4. 高度情報化社会の実現
5. 住民本位の交通サービスの実現
6. 災害に負けない街の実現

○キーワード

- ユニバーサルなデザインを ・快適 ・エコ ・健康 ・エコな ・優しい
- つなげる・限界欲求 ・交流
- 地域
- 多様な生活・暮らし ・環状形 ・コンパクトシティ ・林地 河川による骨格化
- ・防災意識 ・減災

分野：生活環境

自然も心もきれいなまち きたかみ

○キーワード

- ・地域で減災に取り組む ・地域と住民（市民）
- ・安全安心 ・安心安全 ・治安維持
- ・「豊かな森」 ・豊かな緑 ・緑の保全 ・花と樹と水 ・自然がきれい
- ・きれいな水 ・安心・安全な水！ ・空気がきれい
- ・四季が香るまち ・心がきれいな町きたかみ

分野：推進体制

市民自らが主導し行政や企業と対等に 役割分担、協働する街

○キーワード

- 市民 ●主導 ●協働
- ・健全化・役割分担・配置・体制
- ・市民・参加・全世代参加・自治
- ・協働・行動（協働）・協働
- ・3世代・情報・意識・認識共有・判りあい・人材育成・心豊か

全体の将来像・キャッチフレーズを考えよう

- ・ここに住みたい！！夢のあるまち きたかみ (9)
- ・自ら未来創造し夢と笑顔あるまち (8)
- ・市民が躍動するまち きたかみ (7)
- ・市民が未来を創造する街 (7)
- ・人にやさしい街 きたかみ (6)
- ・しあわせを世代につなぐ北上 (5)
- ・子どもたちに伝えよう 大好きな北上を (4)
- ・鬼がかけめぐる北上 (4)
- ・生きる力を育む協働のまち (3)
- ・豊かな文化・資源で躍動するまち (3)
- ・共に学び共に生きる 知性と希望が光るまち北上 (2)
- ・生きる力が躍動する街 (2)
- ・みんなで創る未来のきたかみ (2)
- ・豊かな心があふれるまちきたかみ (1)
- ・みんなで作るVery much (まち) (1)
- ・市民でつちかう夢のあるまち (1)
- ・みんなが安心して暮らせる夢のあるまち (1)
- ・みんなが生き活きと交流し、自然の恵みを大切にする「きれいなふる里」きたかみ (1)
- ・自然も心もきれいに さくら色のまち 北上
- ・豊かな自然に伸びゆく北上市
- ・きたかみのまちづくりは人づくりで！
- ・市民と資源活用のまち きたかみ
- ・市民が主役のまち
- ・みんなのまち 手をつないで生活しましょう
- ・一人一人が輝き、安心して暮らせるまち！
- ・笑顔と生活のまち北上
- ・みんなで作る夢のあるまち
- ・市民がつくる自然と心豊かな活力ある協働のまち
- ・時空(とき)を越え、話し合える街きたかみ
- ・すべてが輝きヤクドウする「まち」きたかみ
- ・鬼になる。鬼が育つ。鬼が集う。鬼が安らぐまち、きたかみ
- ・市民と行政と企業が手をつなぐ 元気なまちきたかみ
- ・脱・東京コンプレックス 北上is北上 北上らしいまちづくり計画
- ・協働で快汗 安心して住み良い心のきれいなまち きたかみ
- ・誰もが主役のまち きたかみ
- ・未来に向かって躍動するまち

※ () 内は得票数

○キーワードの整理 (参考)

- 誰⇒「市民」「みんな」「誰もが」「一人一人」「主役」「協働」「自ら」「子ども達」
- 何 (抽象) ⇒「未来」「夢」「輝き」「笑顔」「恵」「さくら色」「鬼」「ふるさと」「活力」「心」「時空」「知性」「希望」
- 何 (具体的) ⇒「自然」「資源活用」「まち」「きたかみ」
- どのように⇒「北上らしい」「躍動」「豊かな」「きれいな」「安心」「生き活き」「しあわせ」「住みたい」「大切」「安らぐ」「伸びゆく」「優しい」
- どうする⇒「話し合える」「つちかう」「向う」「交流」「創造」「つなぐ」「伝える」「育む」「人づくり」「育つ」「集う」「手をつなぐ」

分野：保健福祉

子育てと医療福祉の充実した夢のあるまち

○キーワード

- ・豊かな・夢のある・まち・みんなが・充実・誰もが
- ・プライマリ・ケア・社会保障・見守り・手厚い・いきいき・健康
- ・子育て・育児・支援・安心して・暮らす（せる）
- ・福祉・福祉のまち・保健医療と・福祉と医療のまち・笑顔
- ・命を守る・生活・命と暮し

「みんながすこやかに 子育てできる きたかみ」

- ・子育てしやすい環境の整備を進める必要がある
- ・無認可の育児施設をなくし、公設、民営型の施設を増やす
- ・公立保育園を増やす（0才児～の）
- ・保育施設を北上独自のシステムを作るとよい
- ・0才児保育をする公立保育園を増やす
- ・子育て支援の施設がまだ足りない
- ・働きながら子育てしやすいようにする
- ・子育ての環境がよい

○健康づくり

- ・施設、設備の充足
- ・メタボ対策
→指導どこまでできるか
- ・直産品で健康を

○医療体制

- ・医療体制を充実する必要がある
- ・市内に病院が多いので市民は安心できる。
- ・高齢者の地域生活と医療の不安を解消
- ・医師が働きやすいようにする
- ・介護度に応じた介護サービスを受けられるようにしたい
- ・自殺者防止への取り組みを
- ・保健・医療分野のサービスや施設の充実（送迎バスも含む）
- ・プライマリ・ケア宣言のまち
- ・里帰り出産をさせたい
- ・受診者と開業医との関係と紹介状の問題）

○障がい者福祉

- ・障がい者が働ける場の確保
- ・知的障害者の集う施設が欲しい

「老後も安心してくらす きたかみ」

- ・一人暮らし老人へのサポートが必要
- ・地区防災の一人居対策を確立すべきである
- ・後齢者を地域で見守もる（近隣と）
- ・高齢者福祉施設の増設、資金のない老人にも入所できる施設
- ・県立北上病院の跡地の利用を高齢者交流施設にするよう進めてほしい
- ・市の将来の老人問題が心配です
- ・後齢者の長期の増減を見通した計画
- ・地域の中にお休み処（高齢者）
- ・高齢者にきめ細い対応出来るまち
- ・高齢者が多い（知恵と知識を活用したい）
- ・老人クラブの地域活動を充実させる
- ・おとなりさまの文化をもう一度見直す（おとなりを大事にする）
- ・元気老人のNPOをたちあげ、見守り活動する

○疑問

- ・主要課題とキャッチフレーズにつながりが弱い
- ・保健福祉としての全体のキャッチフレーズがイメージがつかない
- ・安心して暮らせるのはいいが、「豊かな夢」は無理があるのではないか
- ・安心は医療の箱ものなのか
- ・安心して暮らせるまちとはどのようなイメージか
- ・安心して暮らせることについて詳しく知りたい
- ・夜間診療体制の強化の視点があればいい
- ・豊かな夢を具体的に表現してほしい
- ・豊かな夢のあるまち 分のくぎり？
- ・豊かなはくどい

○なるほど、さすが、評価できる

- ・予防医療の充実が重要だ
- ・豊かな夢＝いろんなこと考えられてよい
- ・豊かな夢→人にやさしい
- ・豊かな→心の豊かさをいっていいフレーズ
- ・体が元気だと心も元気である
- ・夢をもつためには元気でなければいけない
- ・夢のあるまちはよい キャッチフレーズとしてつかいたい
- ・子育て、医療、老後も安心して暮らせるというところが良い
- ・「安心して暮らせる夢のあるまち」でいいと思う
- ・「安心」とは今、使われていないスロープなど今後のためにも自分が安心できるということ
- ・キャッチフレーズのバランスが良い
- ・産科医院の増設が先決だ

○追加

- ・核家族をなくしたい
- ・子供を持てる社会保障
- ・ストレスケアのできる医療体制
- ・精神的ケア＝心の健康
- ・守る育てる
- ・ユニバーサルデザイン（的）
- キーワードをここからも
- ・豊かな夢を人にやさしく
- ・ゆりかごからはかばまで
- ・命を守る
- ・老人が元気なまち

生きる力を育み文化が躍動するまち

○キーワード

- ・生かされる・生きる力・元気になる・元気・生きる力の充実
- ・生きる力の基礎・生きる力の環境・生かされる・生きる力
- ・価値ある文化
- ・充実した環境・充実・価値ある～・環境整備・あふれている・体験・息づく街・育み
- ・専門的な人材・IT活用・活用・活用・地域の先生・交流・交流
- ・多様性・教育機会の多様性・多様な力の育成・基礎的な力の育成・教育環境の整備

「子どもたちが自ら学びひかり輝く学校教育」

- ・高等教育レベルUP
- ・高校生が市外へ
- ・高等教育の充実
- ・先端技術を受け入れる教育場所 人材の育成
- ・学校教育の内容の充実
- ・学力の向上
- ・進学率を上げる
- ・特徴ある教育方針により学力が向上している
- ・学校環境の充実
- ・子供の体験機会の多ジャンル化
- ・少子化後の教育対策対応
- ・1クラスの児童が多い
- ・学校環境が充実している

「社会教育が生きる力になって いる きたかみ」

- ・家庭教育の充実
- ・生涯学習の充実した環境をのぼす
- ・社会教育の機会を多様化する必要がある
- ・社会人への高等教育機会
- ・学校施設を拠点に地域の先生と地域の生徒がつどう
- ・老人大学だけでなく色々な大学をつくる
- ・ITを利用した生涯学習活動

- ・充実したハード資源を生かすソフトが必要
- ・世代間の交流・年配者の知識を生かす場が必要
- ・専門的な人材・リーダー・指導者の連携
- ・各分野のリーダーが協力・連携する 高めあうしくみ
- ・活動を体系的にPRする必要がある
- ・子どもたちの基本的な生活習慣（の確立？）
- ・教育文化のビジネス化

「スポーツで心と体が元気になる きたかみ」

- ・スポーツ人口を拡大する必要がある
- ・スポーツの体験の充実
- ・ニュースポーツの用具が充実している
- ・トップアスリートの技術を観る、教えてもらう機会が必要
- ・プロスポーツ・チームの立ち上げ（NPO、企業）
- ・一貫性のあるスポーツの指導がされる環境がある（小・中・高を通して）

「価値ある文化が息づく街 きたかみ」

- ・民俗芸術を保存・伝承・発展する必要がある
- ・民俗芸能の付加価値を高める
- ・民俗芸能発表機会がある（芸能まつり、発表会）
- ・民俗芸能団体の活動をサポートする補助金がある
- ・民俗芸能の学術的な調査、映像記録が必要（将来的な復活の可能性を残す）
- ・文化財の保存・活用
- ・歴史文化の活用
- ・個人で所有する文化財の調査、保護
- ・遺跡の分布確認や内容説明が必要
- ・高度な芸術文化活動の創造
- ・芸術の質を高める
- ・質の高い芸術があふれている
- ・生活の一部に芸術がとりこまれる事業が必要
- ・気軽に芸術文化を習得する場所が必要

○疑問

- ・発信能力
- ・「生きる力」はどのような流れで出てきたキーワードですか？
- ・社会教育と家庭教育は意味がちがうのでは？
- ・情報化社会への対応教育
- ・地域課題の解決を学び、地域に生かす
- ・“生きる力”は誰のもの？
- ・躍動感、心が高ぶるようなキャッチフレーズ

○なるほど、さすが、評価できる

- ・学力のレベルが…小・中・高の連携が弱い。→学力が弱い
- ・家庭がここに存在している まわりのえいきょうをうけずに育ててしまう。家庭教育に対する考え方を構築したら
- ・「自ら学び」がイイ！！
- ・人生のせんばいから学ぶことは世代間交流より大きい（生きる力になる）
- ・育むというキャッチフレーズいいね！
- ・キャッチフレーズ良い

○追加

- ・掘り起す！活気ある、主体的、積極的なニュアンスで
- ・芸術文化かな？⇒教育文化より
- ・「教育文化」→もっと柔らかく
- ・自尊心 自己効力感
- ・人や技術 連携
- ・生みたいけれど育てられない！
- ・協力しての家庭教育 ・家庭教育の再構築
- ・家庭教育の再構築 子供たちの生きる力を育む力、あきらめない精神力
- ・幼児教育が大事
- ・あきらめない精神力
- ・世代間交流 ex) だし（まつり）全世代が総動員、きっかけがほしい・世代交流
- ・誇れるものがあるのもっと強くうちだしてほしい
- ・郷土芸能を強く打ち出してほしい
- ・子どもが自分達で住んでいる廻りのことを知る
- ・偉人が生まれ育つ街
- ・図書館の閉館をおそくして！
- ・中学校を世界の図書館、世界の博物館につなげる
- ・生命の大切さを教える教育が必要
- ・文化あふれるまち

分野：産業雇用

独自の技術と資源を組合せ 活気うまれる北上

○キーワード

- ・水・資源・産業を支える人
- ・先端技術・独自の・はたらく（労働）・農業・魅力・発信・工業
- ・活気・活気・まちづくり・活かす・にぎわい
- ・豊かな自然をいかすまち・独自の技術と資源を組立て、活気ある北上
- ・独自の技術で活気ある北上・人材育成
- ・組み合わせ コラボレーション・再構築

「農・工・商の連携のとれたきたかみ」

- ・独自の物産品をつくり出す
- ・産業構造のバランスをはかる
- ・工業を中心とした異業種・多業種の発展
- ・異業種・多業種があり、働らく選択肢の幅が多い
- ・工業・商業・観光のバランスある構成（構造）
- ・製造業企業の集積
- ・不況に負けない工業集積
- ・みりよくある職業をふやす
- ・北上ブランドづくり

「仕事と教育がつながるきたかみ」

- ・先端技術を受けれる教育場所をもつ
- ・先端分野で活躍できる人材をたくさん作る

「人と技術が工業を支えるきたかみ」

- ・地元（に根指した）資本による工業・農業・商業の育成（人も含めて）
- ・人材を育てる（様々な産業分野で活躍できるように）
- ・研修センター等と教育のつながりを増やす

「『良さ』のつながりを活かすきたかみ」（観光）

- ・ゆたかな自然
- ・通年観光を組立てる
- ・観光PRが不足している
- ・観光開発力が弱い（PR）
- ・ターゲットをしばった観光PR
- ・近隣市町村との連携を高める
- ・産業観光工業見学のできる観光
- ・北上の歴史を観光の材料に

「農業をしたいと思うきたかみ」

- ・農業後継者・担い手の育成が必要
- ・食料自給率を上げる
- ・地産地消を念頭においた農業のしくみ
- ・子供の頃からの農業体験
- ・農業所得を上げる仕組みづくり
- ・中小農家、兼業農家への支援

「『ここしかない』がいっぱいあるきたかみ」（商業）

- ・独自の物産品をつくる
- ・中心市街地を活発にする
- ・魅力があふれるお店を増やす
- ・「市」をつくる
- ・歩いて用の足せる商店街
- ・ついでに買えるまちづくり
- ・住商接近の住宅
- ・店などをつなげる循環バス

○疑問

- ・資源は何を指すのか？
- ・「資産」という言葉が「資源」よりもいいのでは？
- ・「組み立て」はどういうこと？わかりやすく。
- ・農・商の連携がとれていない。地産地消の取り組みを！
- ・農業の「産業化」という視点
- ・お金が地元へ落ちる仕組みを
- ・独自の技術とは何
- ・休耕田の活用
- ・農業、地産地消の推進
- ・農業を一番の柱にしてもいいのでは？
- ・「ここしかない」が…のフレーズが柔らかくてよい

○なるほど、さすが、評価できる

- ・独自の技術と資源はともいいフレーズだ
- ・キャッチフレーズがこち良い
- ・キャッチフレーズの考え方etc
- ・つなぐ、コラボ、バランス
- ・農・工連携 農産物の活用
- ・地産地消→食育につながる
- ・北上山地の安定した土地に活用がなされないのか？

○追加

- ・「組立て」を「交流で」に代えたら？よりいいと思う
- ・組み立ての表現？
- ・村（農）とまち（商）のつながり（ビジネスのつながりだけではなく）
- ・もっと物産と観光を結び付ける視点を
- ・〈雇用〉例えば、東芝製品（市内企業商品）に補助出すとか
- ・展勝地の桜を生かした大きなイベントをしたらどうか
- ・人材育成と教育
- ・中小農家の支援が必要
- ・「農業」をはずした方が（「農業研修センター」の）
- ・農業 兼業農家への取り組み必要
- ・農業資源を強く出して
- ・北上時間（都会に合わせたものではなく）幸せになれる

きたかみデザインのまち

1. ユニバーサルデザイン
2. 特色あるコミュニティの実現
3. コンパクトシティの実現（効率的公共サービスの実現）
4. 高度情報化社会の実現
5. 住民本位の交通サービスの実現
6. 災害に負けない街の実現

○キーワード

- ユニバーサルなデザインを ・快適 ・エコ ・健康 ・エコな ・優しい
- つなげる・限界欲求 ・交流 ●地域 ●多様な生活・暮らし ・環状形
- ・コンパクトシティ ・林地 河川による骨格化・防災意識 ・減災

「自然と都市のバランスがとれた町 きたかみ」

- ・花がたくさん咲いている道路にする
- ・ゴミのない街 クリーントラスト推進
- ・自然環境を生かした景観づくりが必要である。
- ・自然と都市のバランスがとれた景観（かたよりすぎない）
- ・防犯 児童見守りシステム、高齢者見守りシステム→ボランティア地域活動
- ・不法投棄監視システムの導入が必要
- ・自然保全地域と都市整備地域のゾーン分けが必要
- ・緑や農地をむやみに減らさないようにする
- ・哲学 計画の横軸 UDの考えを導入する
- ・計画の横軸 つなぐネットワーク社会 高度情報化社会
- ・市役所のコンビニ化
- ・拡散が悪いか、いいか

「みんなで支える交通のあるまち きたかみ」

- ・冬期間交通確保の手段を考える（含 除雪排雪対策）
- ・オンデマンドバスの導入 タクシー代わりに使えるバス
- ・公共交通網の整備が必要
- ・高速交通体系や幹線道路は整備が進んでいる。これをもっと生かすことが大切。
- ・公共交通の利便性を上げる必要がある
- ・地域コミュニティの活性化を図る必要がある
- ・今あるコミュニティの保存

「災害に負けない きたかみ」

- ・災害が起きたときの対応する力を強くしたい
- ・防災組織の周知・意識を高めることが必要
- ・地区交流センターと防災本部通信網の確立が必要
- ・災害に強い道路交通網の整備
- ・学校耐震化、完全実施が必要
- ・消防出動情報の周知の仕方の多様化が必要
- ・現場から災害情報の収集できるシステムの構築が必要
- ・災害発生ポイントの確認をしやすくしたい
- ・避難経路の整備・周知する必要がある
- ・情報網の整備・明確化する必要がある
- ・地域FM放送の開始が必要

○疑問

- ・集落の表現を変えてみてはどうか？
- ・ユニバーサルデザインという横文字を改めるべきではないか
- ・「多様なくらしをつなげる」
- ・生活の中でどう情報ネットワークを生かすのか
- ・UDを日本語に代えるようにならないか 理念を大切に
- ・少力化のインフラ その集落に合った
- ・みんなで支える交通とは何か不明

○なるほど、さすが、評価できる

- ・UDの思想を残す
- ・ユニバーサルは良いと思う
- ・つながる、の表現が良い
- ・都市が中心ではなく、集落に視点があるので良い
- ・ライバルは京都

○追加

- ・市のUD担当セクションを設置しては
- ・キャッチフレーズが長い
- ・多様なくらしをつなげるきたかみデザイン
- ・北上デザイン←ユニバーサルデザイン
- ・その地区にあった整備が必要だと思う
- ・地域情報の整理
- ・集落とミニマムのアクセス
- ・高度情報化組の整備
- ・UDと高度情報化社会への対応策がない
- ・日本語で表現してほしい（ユニバーサル）
- ・集落の表現を見直してはどうか
- ・ユニバーサルデザインの意味？
- ・一番にユニバーサルがくるとわかりづらい

分野：生活環境

自然も心もきれいなまち きたかみ

○キーワード

- ・地域で減災に取り組む ・地域と住民（市民）
- ・安全安心 ・安心安全 ・治安維持
- ・「豊かな森」 ・豊かな緑 ・緑の保全 ・花と樹と水 ・自然がきれい
- ・きれいな水 ・安心・安全な水！ ・空気がきれい
- ・四季が香るまち ・心がきれいな町きたかみ

「ゴミが少ない きたかみ」

- ・有料化と合わせた複合施策の展開（生ごみ対策など）食べ残し→教育
- ・リサイクルシステムの確立
- ・ゴミの分別処理
- ・公共、河川のゴミの対策が必要
- ・生ゴミの処理
- ・資源ゴミの減量をもっと必要
- ・ゴミステーション 統一性を高める必要がある
- ・3Rの学習、罰則
- ・ゴミのマナーの向上
- ・ゴミの回収方法 アパート、マンション
- ・企業の商品梱包（ゴミを出さない）の問題
- ・企業間連携 ゼロエミッションのネットワーク化（産業のまちとして）

「治安が良く安心して 住める きたかみ」

- ・地域のパトロール体制
- ・駐在所の配置の見直し 重点地区への配置
- ・子ども110番 避難所の設置と連携
- ・消防・防災の体制
- ・暴力団追放

「公害のない きたかみ」

- ・大気汚染、工場排水排煙
- ・交通 騒音
- ・地下水の汚濁

関連課題

- ・自然の多さと都市機能のバランスがある程度とれている
- ・除雪対策
- ・下水処理施設の整備
- ・消防・防災の体制

「自然と共生する きたかみ」

- ・水質、上水（水道水）の保全
- ・清水の景が減っているのが問題がある
- ・里山の整備
- ・上流域の森林整備が必要
- ・休耕田の手入れ、整備

「不法投棄が少ない きたかみ」

- ・監視カメラを設置する
- ・土地管理をする 草刈り、フェンス、標式
- ・企業や地区で清掃活動を実施
- ・パトロールの実施と権限
- ・教育指導（マナー）
- ・事業者のマナー（工事関係者）

○疑問

- ・“治安”とキャッチフレーズとの関わりは？
- ・豊かな自然を守る対策（文化的景観）の保全
- ・災害がうたわれてない
- ・ゴミ問題の部分がキャッチフレーズに表れていない
- ・心がきれいとはどんなことを期待していますか
- ・“自然”と“心”が離れているのでは
- ・人工的に残す自然とそのままにする自然のバランス
- ・自然と公害が相反するものと思うが、どうマッチングしたのか
- ・ゴミ問題のこれからの具体的対策は？
- ・心がキレイだと町もキレイになるのか
- ・キャッチフレーズに治安の部分が表現されていない
- ・自然と心のつながりが？
- ・不法投棄の取り組みについて

○なるほど、さすが、評価できる

- ・“きれいな”がよい
- ・“自然と共生”はいい
- ・「心」の文字がよい
- ・“きれい”は良いインパクト
- ・心が大いにOK
- ・「きれいな」言葉がよい
- ・自然とは景色ではなく、必然での意も
- ・心がいい

○追加

- ・治安について
- ・景観の視点があってよいのでは
- ・大型放棄廃棄物 自動車への対応
- ・“きれいな”もっと主体的なことばにしてほしい
- ・自然エネルギーの普及など（太陽光発電）資源循環型、低炭素社会の実現
- ・自ら行動しましょう ゴミひろいとか
- ・“きれいにしたい”と思うきれいな心を育むことを皆でやりましょう
- ・そのままの自然も自然として残した方がよい
- ・北上の自然がきれいだと思うので“自然”も心もきれいなまちきたかみにしたら
- ・自主的に防衛を…

分野：推進体制

市民自らが主導し行政や企業と対等に 役割分担、協働する街

○キーワード

●市民 ●主導 ●協働

- ・健全化・役割分担・配置・体制
- ・市民・参加・全世代参加・自治・協働・行動（協働）・協働
- ・3世代・情報・意識・認識共有・判りあい・人材育成・心豊か

「世代に結ぐ きたかみ」

- ・人材育成を意識した推進体制とする
- ・3世代が住める住宅建設の促進

「人材育成がスムーズにつながる ことができるきたかみ」 「おたがいが活かし合う街」

- ・地域づくりに多様な価値観の人たちをどのようにしてまとめていくか？ 解決策？
- ・地域と北上市が協働での街づくり（地域が主）地域住民が地域の問題に詳しい地域自治基本条例
- ・議会、議員との関わり

「ほっとするまち きたかみ」

- ・安全・安心・豊かにを基本とする感じる協働
- ・人々が生活にゆとりを持ち、まちづくりに意識をして参加できるように

「市民が主導し、 協働するきたかみ」

- ・地域自治基本（16地区へ対応）条例の制定
- ・市民活動の推進
- ・市民が主体となり協働を主導し、行政は補う。地域・企業・団体は積極的に関わっていく。
- 「主役は市民」

○協働

- ・ボランティアは限界なので、協働のカタチで有償で責任あるしくみ
- ・ボランティア活動へのフォロー

○参加

- ・知っている人だけが知っている
- ・施策や市全体のことに、提案や意思をきめていくためのルールがあいまい
- ・具体的役割分担を明確にした取り組み

○議会

- ・地域における協働のすすめ方（何をどうしたいかを示して…）

「みんながわかりあえる きたかみ」交流

- ・押しつけのないつながりづくり
- ・高齢化→互助 交わりと交流のしかけづくり 参加して欲しい人のニーズを満たす
- ・地域間交流 世代間交流の促進

「心豊かな街 きたかみ」

- ・何のために、誰のためにをよく話し合う

○情報

- ・近くの地域相互の情報の共有が少ない
- ・地域のニーズと企業の社会貢献マッチしきれていない
- ・情報公開法のきゅうくつさが地域づくりをしにくくしている

○財源

- ・予算、使途に自由度が少ない
- ・業務量に見合った人員配置と財政の裏付け
- ・限られた資源（市財源）を有効に使うための施策えらびを市民と十分できていない
- ・右肩上がりの成長はない

○疑問

- ・市民が前面に出る→今までと変わったやり方をどう市民にわかせるか
- ・どのように主導するか 目的必要
- ・市が行政としてこれを受け入れるか
- ・協働が万能であるかのさっかくにおちいりそう
- ・一部の活発な人間の意見が突出していくのではないか
- ・具体性？やれるのか？
- ・交流センター化、市役所の出先の考えが変わっていない
- ・いっしょにやることで決めたことより責任も市民側におしつけられるのでは
- ・市民が主導すれば行政に良いように使われやすい
- ・このことをどう「市民」にどう広めていけるかがむずかしそう
- ・市民→行政→市としての意見がない状態に見える
- ・市民「主導」したいってみんな思っているのかな？→主導していくことのアレルギー？
- ・地方自治体がありながら市民が主導はありえない
- ・ピンときにくい 比較（今までの）ができない
- ・地方自治体から市民が受動する立場
- ・市民と行政の協働の継がりをどうつくるか
- ・予算のきびしい中での協働の体制をどう持っていくか
- ・「協働」ははっきりしない

○なるほど、さすが、 評価できる

- ・市民主導の言葉がいい
- ・キャッチフレーズはとても良い
- ・主導→難しいけど自ら進んでいくことが表していてよい
- ・市民が主導
- ・主導
- ・協働を越え、主導というのがよい
- ・市民が主であることを打ち出す
- ・市 積極性が感じられる
- ・市民がつくっていく時代にはいっている

○追加

- ・企業のことでも市民に含んでみては？
- ・企業＝利益のイメージが強いので、そのイメージを変えるためにも
- ・市民主導した本人にメリットがえっていきようなシステム化も併せて考えてほしい
- ・意識改革

<ふりかえりシートから>

- ゴールが霧の間に見えてきた。これからの北上はこれからの人間（若い者）が参画して創造すべきと思った。
- いよいよ全体のキャッチフレーズ作りが始まり、素晴らしいものができることを期待。
- 今日の進め方は大変良かったと思います。他のグループのこともさることながら、改めて自分のグループでの議論を再認識できたと思います。
- 会議時間をもっと！！
- 本日は、遅刻してきてすみませんでした。前日も休んでしまいすみませんでした。残り 1 回全力で参加します。次世代のために！
- 何が何だか理解しないまま、発想だけで動いてる。代打3回。よくついていくよ。迷惑かな？！
- キャッチフレーズの大幅な変更があった。多数の意見があると、よいものが生まれると感じた。
- 思ったように理想の言葉が出て来なくてとても苦労しました。
- 参加人員不足でたいへん 7 回までさんかするぞ！！
- キャッチフレーズは各項目にマッチしたものが出来て非常によいと思った
- アイデアあふれるキャッチコピーに流されたけど、いいのかな～。自分としては、良いと思っているけど！
- 分野にしぼった協議後に全体のキャッチフレーズを出すのはむずかしかった。（次回は良いものを出したい）
- “市民が主導する”にネガティブな意見が多く出されました。行政のサポートを期待します。
- ユニバーサルデザインや高度情報化社会への対応をキャッチフレーズにしていたが、（少し分かりづらいと心配）メンバーの意見で「小学生にはUDやITや教育がなされているので十年後には、注記しないでよい言葉になっているので大切に」との励ましは何よりありがたかったです。
- それぞれの班に訪問できてよかった。みなさんの思いがキャッチコピーによく表れていたと思います。
- 市民に理解され愛されるキャッチフレーズ作りは大変。素晴らしいものが出来ると良い。
- ぐるぐる動き回りが良かったです。未来創造会議もあと 1 回。ひとまず通過点ですがここまでこれで「…よかったな。」思います。開始前のBGMも良かったです。…あれは、だれが…いったい…。
- それぞれが思い描く北上の将来像のような、素晴らしい北上になっていけたら素晴らしいと思う。
- 二度目のキャッチフレーズで、より良いものを意見を出し合い決定できたのではないかな。グループ外の人に説明するのはむずかしいが、他班の詳しい話を聞くことでより理解できてよかったと感じた。
- 他の班の成果をみることでまた違った視点で自分たちの話し合いを深めることができた。ある程度熟した段階で、他の人の意見をきくといいなあと感じた。
- 一人一人の思いがからみ合って1つのものになって行くプロセスがうまく働いていると感じた。

○頭がかたくなかったなあと痛感！もっと頑張らないといけませんね！

○次回話し合う内容を事前にわかっていたら良かった（訪問） 創造 NEWS 第5号ではキャッチフレーズ原案をサポートした内容をもう少し丁寧に聞きたかった！

○各部の考えを聞き、地域づくりにどう取り組めば良いか、いろいろと考えることができました。

○今日が、遅らばせながら、初参加だったので、テーマを決めるにも、いろいろな考え方と捉え方があるものだと感じました。余り発言はできませんでしたが、次回はどんどん思うことを話していきたいと思います。

○テーマが自分の中で絞り込めていないので、空回りばかりしていた。議論の中で、テーマが以前より絞り込めてきました。

○保健福祉の分野はやっぱり広い！！イメージを具体的に絞っていく作業はみんなの力を合わせることができたからだと思います（三田さんのがんばりに感謝！！）

○言葉の使い方、責任、誰にでもわかる表現が大切。

○他班をまわってのコミュニケーションでは体が熱くなったらいろいろな意見がうかんだ。おそらく他の方も少なからずそうだったのではないかな。グループの話し合いではみんなが理解（共有）した言葉はなかなかみくだいて説明しないところがあり、他のグループの人は、疑問に思ったところが多かったことが今回のワークでよく分かった。